

◇「<sup>あくといちりづか</sup>阿久戸一里塚」(昭和55,3,1 <sup>むらしてい しせき</sup>村指定の史跡)

阿久戸一里塚は、大字下中津川字阿久戸にあります。

<sup>たびびと</sup>旅人が、<sup>きょり</sup>歩いた距離の目やすにした大切な史跡です。また、ここは次の目的地への道しるべとなったところです。一里塚は<sup>かくち</sup>各地にあります。が、「阿久戸一里塚」もよく<sup>かんさつ</sup>観察していると昔の<sup>おもかげ</sup>面影がよみがえってくるようです。他に<sup>びじょとけ</sup>美女峠(旧道)や、<sup>くいまる</sup>喰丸峠(旧道)には、道の<sup>けんぞん</sup>両側に現存しています。



◇「<sup>せんていほぞんぎじゅつ</sup>選定保存技術 からむし(苧麻)生産・<sup>おひ</sup>苧引き」

(平成3,11,16 <sup>くにしてい てんどうてきこうげいぎじゅつ</sup>国指定の伝統的工艺技术)

現在、<sup>となり</sup>役場隣にある「<sup>かいかん</sup>からむし会館」内の「<sup>せいさんぎじゅつほぞん</sup>からむし生産技術保存<sup>きょうかい</sup>協会」が指定されています。

昭和村からむし生産技術保存協会では、このような<sup>とくしゅ</sup>特殊な技術や生産方法を<sup>けいしょう</sup>継承するために、村や<sup>のうぎょうきょうどうくみあい</sup>農業協同組合の<sup>しえん</sup>支援を受けながら、<sup>どりょく</sup>いろいろな努力をしています。

◇「<sup>どうそじん</sup>村の道祖神」

昭和村でわかりやすいのは、<sup>さくら</sup>佐倉と<sup>おのかわ</sup>小野川地内の道祖神です。よく見ると、村のはずれや<sup>とげみち</sup>峠道にあるようです。奥会津には、各地に道祖神や<sup>ばどうかんのん</sup>馬頭観音などの<sup>そぼく</sup>素朴な人びとの<sup>しんこう</sup>信仰のようすを見ることができま

す。